



佐賀市立金立小学校 学校便り 第12号

きんりゅう

学校教育目標 「志高く 心豊かに 学ぶ 金立」



あたりまえだけど、あたりまえじゃない

3学期が始まりました。静かだった学校に子どもたちの声が響き、一気に勢いを取り戻した感覚になります。冬休み中に大きな事故の報告などもなく、今日、元気な顔を見ることができました。これが一番嬉しいことです。3学期も引き続き元気に過ごしてほしいと思います。

子どもたちは1年間で約200日、学校に登校します。そのうち、2学期までが約150日。つまり、3学期は約50日です。6年生は少し早く卒業を迎えるので、今年度の残りは今日も含めて**44日**しかありません。入学から数えると、小学校生活約1200日のうちの残りが、わずか44日。

令和7年1月9日発行
文責 校長 泊 裕人



学校HPもご覧ください



ずっと続くような錯覚にも陥りがちですが、卒業したあとに全員が揃うことは極めて稀なことです。私の教員生活の中で卒業させた子どもたちが、卒業後に全員勢揃いしたということは記憶にありません。進学先の違い、その先の就職による転居などなど。それぞれの道を歩んでいくことはとても喜ばしいことです。ただ、今、当たり前だと思っている日々が当たり前ではなかったということを実感する時が近づいています。だからこそ、卒業までの限られた時間を大切に過ごしてほしい。

5年生以下の子どもたちにとっても、今の学年で過ごす時間は限られています。この44日、50日で「やらなくてはならないこと」「できること」「やりたいこと」を自分で考え、自分で決定し、取り組んでほしいと思います。

何をやらなきゃ?
何ができる?
何をやりたい?



以上のようなことを始業式で話しました。

これから「3学期の目標」などを決めていくと思います。きっと、継続して取り組めるものを設定してくれることでしょう。

1年間のまとめの時期に入ってきますので、お家の方でも子どもたちが決めた目標を聴いていただくとともに、お家ができる「この学年のうちに、やってみたらいいこと」などをアドバイスいただけするとありがたいです。

是非、子どもたちと話し合ってみてください。

